

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	基礎医学実習 (Practicum of Basic Medicine)		
ナンバリングコード	S20401	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 臨床医工学
単位数	1	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S010301	クラス名	-
担当教員名	長濱 純二、政元 いずみ、菅崎 幹樹		
履修上の注意、 履修条件	受講前後に実習内容についての予習・復習を必ず行うこと。 遅刻や私語など、実習の妨げとなる行為をした学生には退室を命じるとともに、その日の出席を無効とする場合があります。		
教科書	配付資料		
参考文献及び指定図書	入門人体解剖学(1年次購入済) 藤田 恒夫 南江堂		
関連科目	解剖学、病理学1		

○基本情報		
授業の目的	生体の構造や機能、病態生理などの基本的な医学的概念を理解し、病理検査、微生物検査、生化学検査などの臨床検査手法を通じて、患者の診断や治療に不可欠な技術を学修する。同時に、バイタルサインの測定や静脈路の確保、抜針、止血などの医療現場で必要となる基礎的な医療技術について学修する。	
授業の概要	本科目では、解剖学、生理学、生化学で学んだ基礎的な医学的内容について実技を通して基礎的な医学的内容をより深く学ぶ。具体的には人体模型等による各部の観察、正常・病理組織の顕微鏡観察、グラム染色による微生物観察、生化学系基礎実験、生体物性基礎実験、バイタルサイン計測および静脈路の確保と抜針・止血を通して、医療技術者としての基礎医学実験器具や検査機器の取り扱い、タスクシフトに伴う基礎的な医療技術について学修する。 長濱純二、政元いずみ、菅崎幹樹 共同担当方式／全15回	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「実験・実習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目		
実務経験のある教員による授業科目	臨床検査の分野で豊富な実務経験を持つ3名の科目担当者により、基礎医学実習を展開する。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	生命に対する尊厳と人権を尊重し、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力を身に付けている。			20点
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。		60点	
【ディプロマ・ポリシー3】	医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。			10点
【ディプロマ・ポリシー4】	医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。		10点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
実習への取り組み方、レポート提出状況およびレポートの記載内容で評価します。 課題・レポート等のフィードバックは、次回以降の授業内等で適宜行います。 〈レポート評価のポイント〉 提出されたレポートが授業に基づいており、内容が正確であるかどうか。 レポートの図や文章が適切で理解しやすいか。				

○その他
臨床医工学コースの学生は必ず履修すること。 授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、実習の進捗状況や医療状況を考慮しながら、再調整することがあります。 尚、本講義科目の実時間は1コマ120分とする。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	基礎医学実習 (Practicum of Basic Medicine)	授業コード	S010301
	担当教員	長濱 純二、政元 いずみ、菅崎 幹樹		
学修内容				
1. オリエンテーション・基礎医学実習の概要説明				
オリエンテーション・基礎医学実習の概要説明				
予習	シラバスを読み学習の過程を把握する。			約1時間
復習	シラバスを確認し全体像を把握する。			約1時間
2. 人体の構造(骨格)について				
人体の構造観察(模型)とスケッチ(骨格)				
予習	配布資料や参考書等で人体の骨格について理解しておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			
3. 人体の構造(筋)について				
人体の構造観察(模型)とスケッチ(筋)				
予習	配布資料や参考書等で人体の骨格について理解しておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
4. 人体の構造(臓器)について				
人体の構造観察(模型)とスケッチ(臓器の位置関係)				
予習	配布資料や参考書等で人体の骨格について理解しておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
5. 光学顕微鏡について				
光学顕微鏡の使い方と原理				
予習	配布資料や参考書等で顕微鏡について理解しておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
6. 人体組織標本(腎臓)の観察				
光学顕微鏡による人体組織標本(腎臓)の観察とスケッチ				
予習	配布資料や参考書等で腎臓の組織学的特徴について調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
7. 人体組織標本(心臓)の観察				
光学顕微鏡による人体組織標本(心臓)の観察とスケッチ				
予習	配布資料や参考書等で心臓の組織学的特徴について調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
8. 微生物検査(グラム染色)について				
グラム染色の実習と微生物の観察とスケッチ				
予習	配布資料や参考書等で微生物のグラム染色法、グラム染色による分類について調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間

○授業計画	科 目 名	基礎医学実習 (Practicum of Basic Medicine)	授業コード	S010301
	担当教員	長濱 純二、政元 いずみ、菅崎 幹樹		
学修内容				
9. 生化学系基礎実験1				
生化学系基礎実験:吸光度計について				
乳び・溶血・黄疸が 吸光度に与える影響とデータの観察ポイントについて学ぶ。				
予習	配布資料や参考書等で吸光度計について調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
10. 生化学系基礎実験2				
生化学系基礎実験:糖・蛋白検査				
予習	配布資料や参考書等で糖・蛋白検査について調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
11. 生体物性基礎実験				
生体物性基礎実験:POCTによる血糖測定				
予習	配布資料を読み、参考書等でPOCTによる血糖測定について調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
12. バイタルサイン計測				
バイタルサイン計測:非観血的血圧測定、酸素飽和度測定、脈拍測定				
予習	配布資料や参考書等でバイタルサインについて調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
13. 静脈路の確保				
静脈路の確保:末梢静脈路				
予習	配布資料を読み、参考書等で静脈路の確保(末梢静脈路確保)について調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
14. 静脈路の抜針・止血				
静脈路の抜針・止血				
予習	配布資料や参考書等で静脈路の抜針・止血について調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
15. まとめ				
第1回から第14回までの総復習:理解不足のピックアップしまとめる。				
予習	理解不足な内容や知識を深めたい内容を調べておく。			約2時間
復習	実習内容をレポートにまとめ復習する。			約2時間
16.				
予習				
復習				